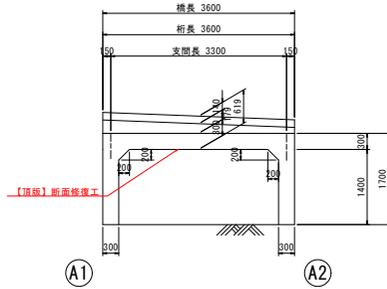


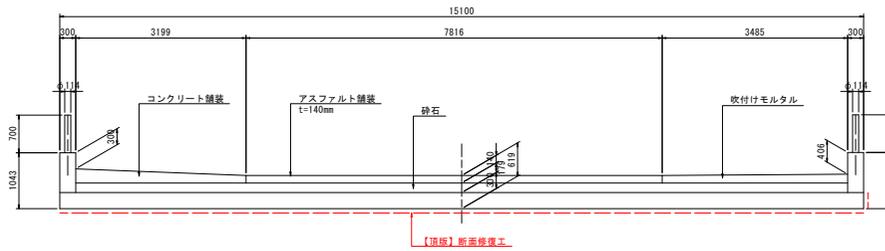
補修一般図 S=1:50

明神越浦10号線1号橋

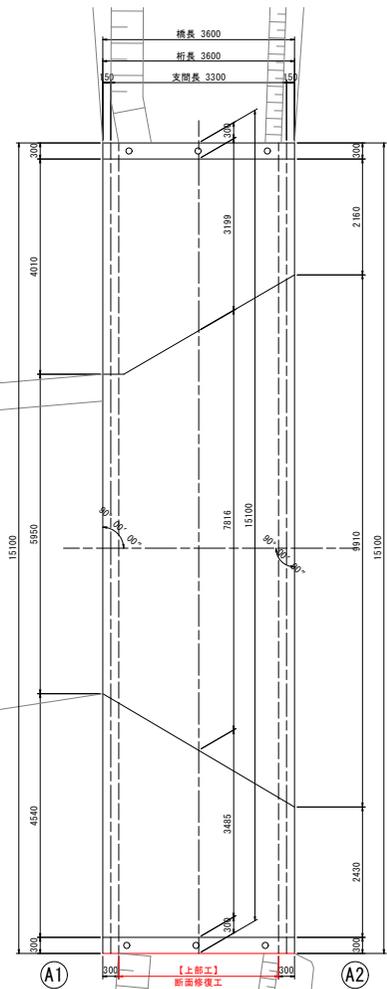
側面図



断面図



平面図



設計条件

道路条件	
路線	市道 明神越浦10号線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	明神越浦10号線1号橋
橋長	L=3.600m
桁長	3.600m
支間長	3.300m
総幅員	15.100m
有効幅員	5.950~9.910m
斜角	$\theta = 90^{\circ} 00' 00''$ (道路中心)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	
横断勾配	
構造形式	
上部工	RC溝橋 (BOXカルバート)
舗装	アスファルト舗装 t=140mm
下部工	その他 (A1, A2)
基礎工	不明
支承	-

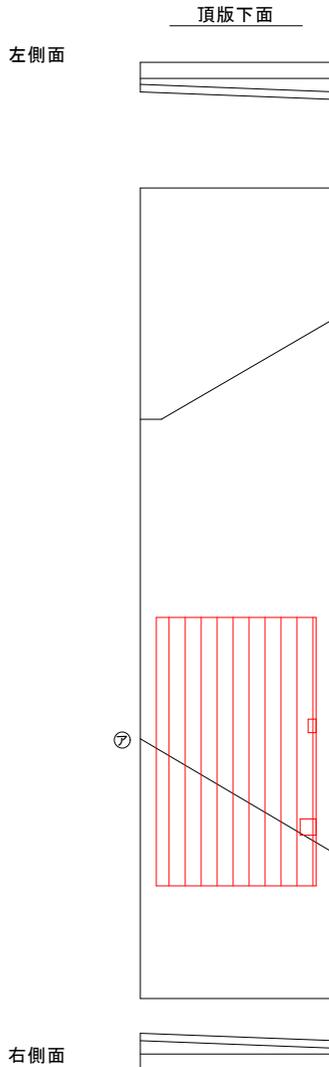
【補修項目】

工法	判定区分	部材	規格	備考
断面修復工	III	頂版	ポリマーセメントモルタル	

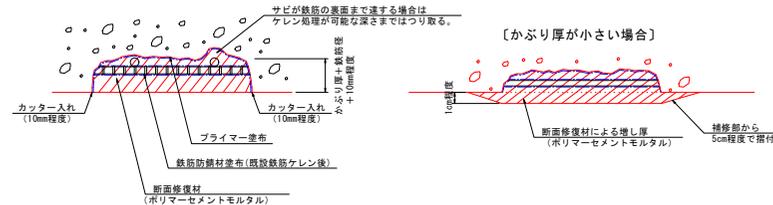
図面番号	第 1 号	図面総数	全 3 葉
工事名称	明神越浦10号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図	縮尺 (A1) : 図示	
製作年月	令和 6 年 8 月	所属年度	令和 6 年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計	製図
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図 S=1:50

明神越浦10号線1号橋

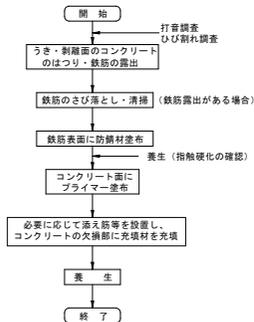


断面修復工詳細図



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フエアーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って張り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の巻線等の残骸は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、筋筒部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10~20mm程度)
- ※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては筋筒部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

【断面修復工法の施工要領】



断面修復面積 (左官工法)

部材	No.	種別	幅	延長	深さ	面積	体積
			(mm)	(mm)	(mm)	(㎡)	(m³)
頂版0101	ア	鉄筋露出	3000	5000	50	15,000	0.7500

凡例
⑦~:断面修復工法

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例
ひびわれ
うき
剥離
鉄筋露出
遊離石灰
豆板・空洞
漏水・滲水

ひび割れの線種	補修工法
.....	ひび割れ幅0.2mm未満
—	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
—	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

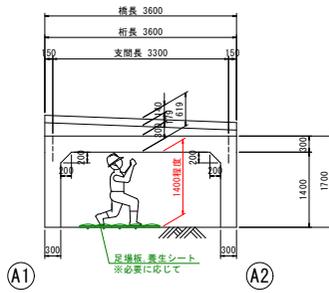
- 注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
 注) 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。
 注) 配筋書きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

図面番号	第 2 号	図面総数	全 3 葉
工事名称	明神越浦10号線1号橋梁補修工事		
図名	補修詳細図	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

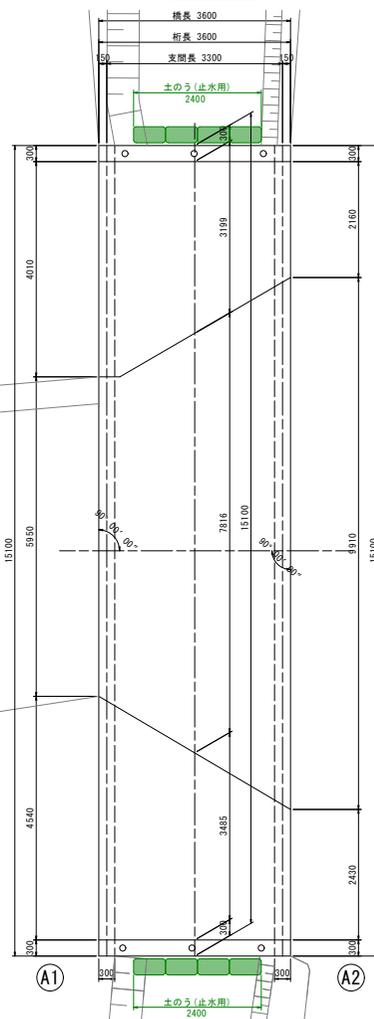
施工要領図 S=1:50

明神越浦10号線1号橋

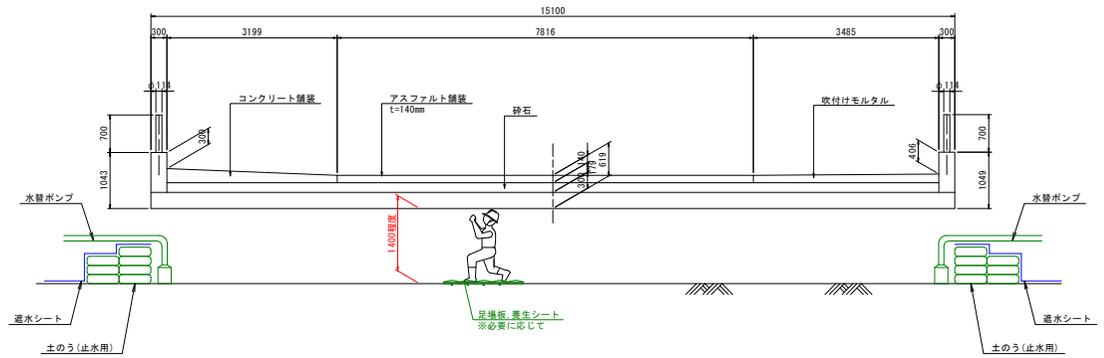
側面図



平面図



断面図



図面番号	第 3 号	図面総数	全 3 葉
工事名称	明神越浦10号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図	縮尺(A1): 図示	
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計	製図
鳴門市 都市建設部 土木課			